

MPLAB X + CCS C コンパイラ・チュートリアル

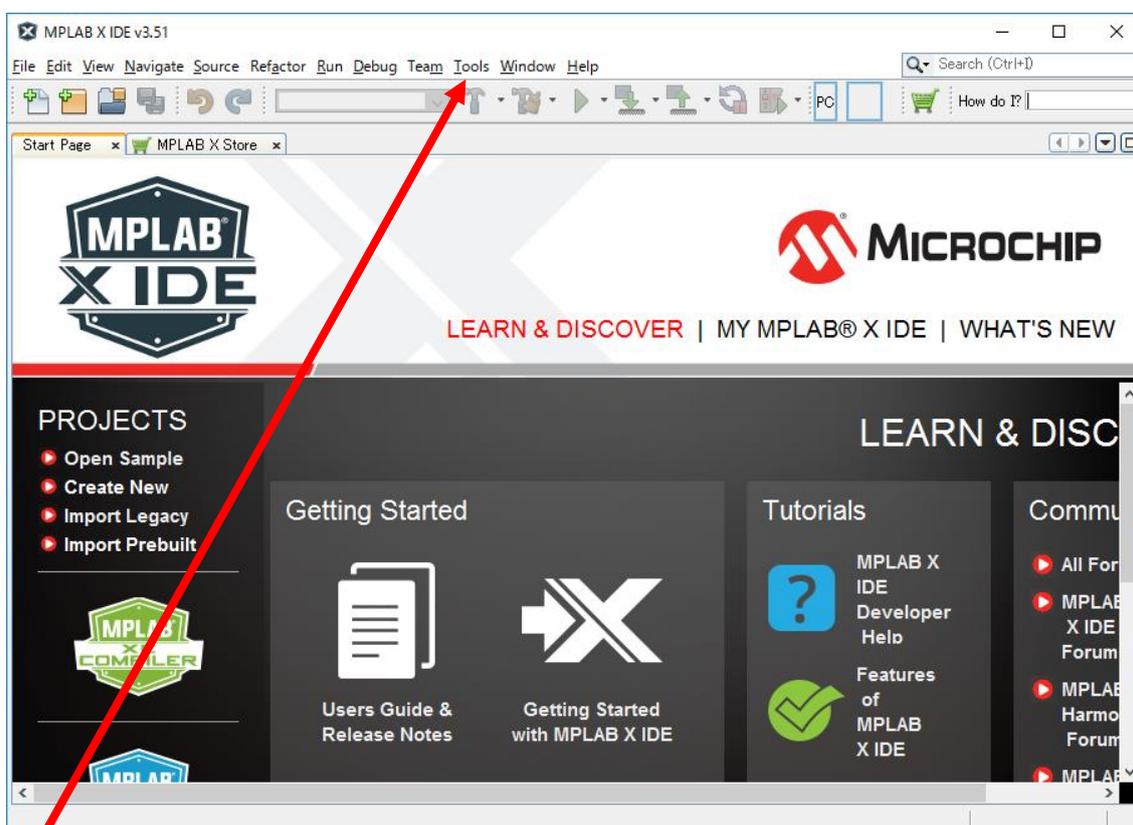
Plug-in はMPLAB X に含まれていますのでダウンロードもインストールもMPLAB X 内で操作されます。*MPLAB X 3.35現在

(* 基本的にはMPLAB 8.xxx以前の様にCCS 社からダウンロードしてプラグインをインストールする必要は有りませんが、MPLAB Xのインストールの問題等で、上手く統合されない場合はCCSのダウンロード・ページよりMPLAB® X IDE Plug-in をダウンロードして下さい。 http://www.ccsinfo.com/downloads/setup_mplabx_plugin.exe)

** ここでは Program Files (x86)¥PICCC¥Examples 中にある EX_SQW.C というサンプル・ファイルをデスクトップの+CCS Working folder+に置いて、そのコンパイルを例として説明しています。

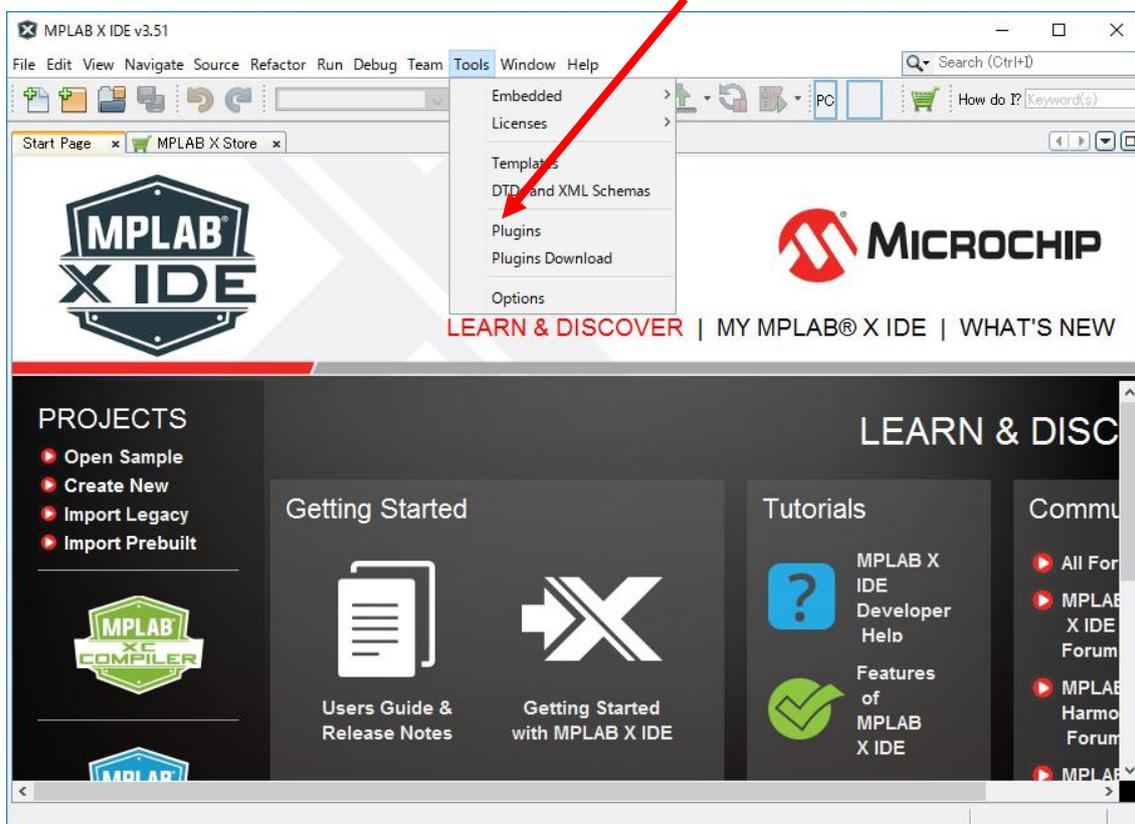
インストール終了後、アイコンをクリックして立ち上げます。

※**Examples** に有るものは **Examples** フォルダでそのままコンパイル出来ません。
必ず任意のフォルダにコピーしてご使用下さい。

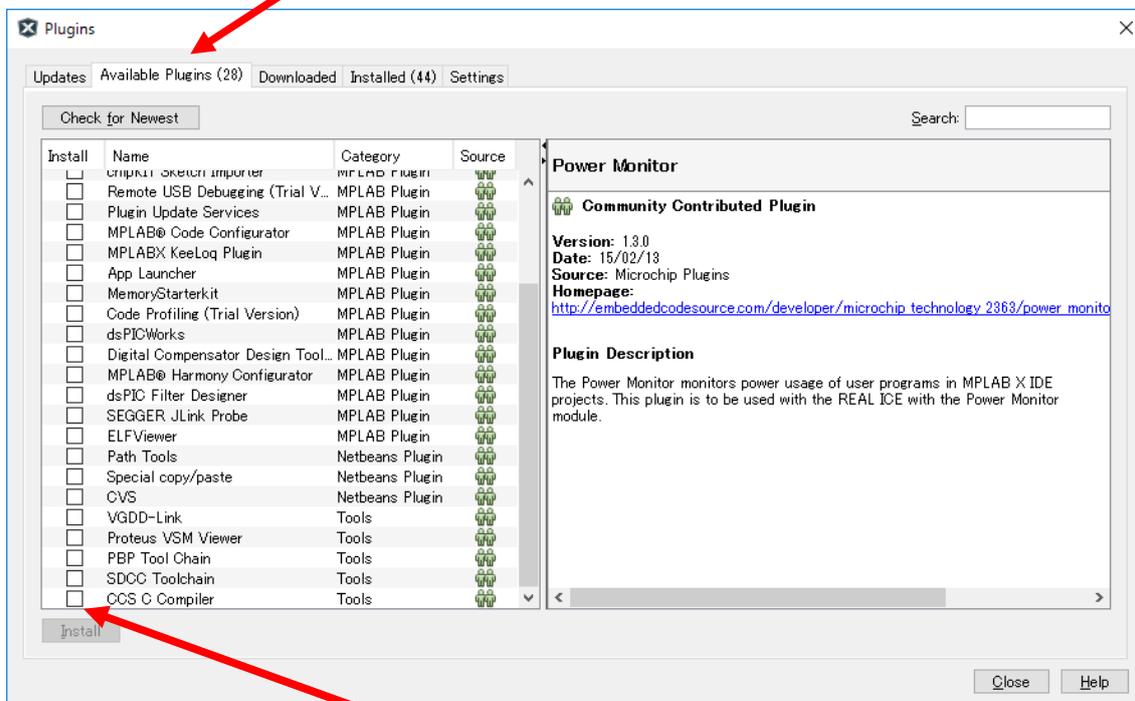


Tools -> Plugins をクリックします。

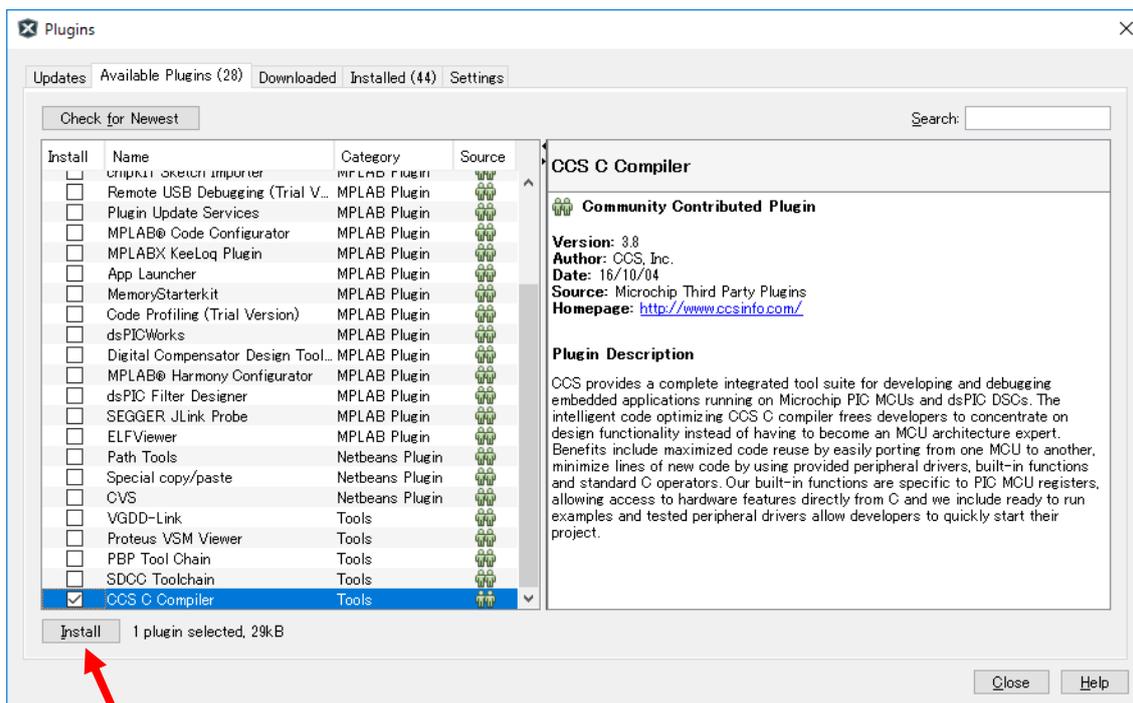
Plugins をクリックします。



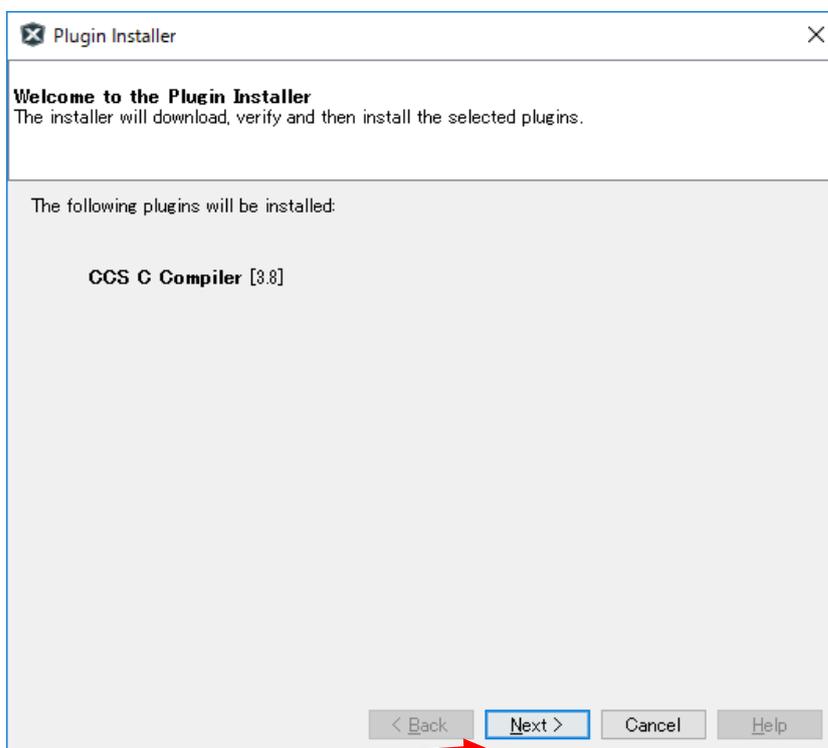
次の画面が現れます。Available Plugins のタブをクリックして下さい。



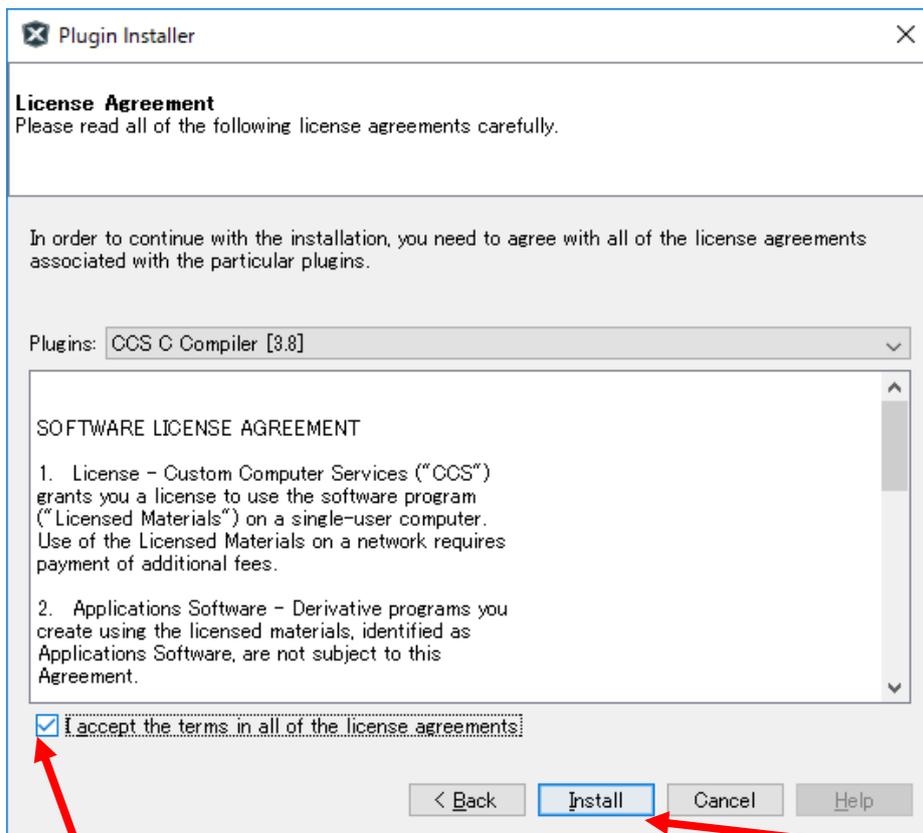
CCS C Compiler にチェックを入れて下さい。次ページの画面が変わります。



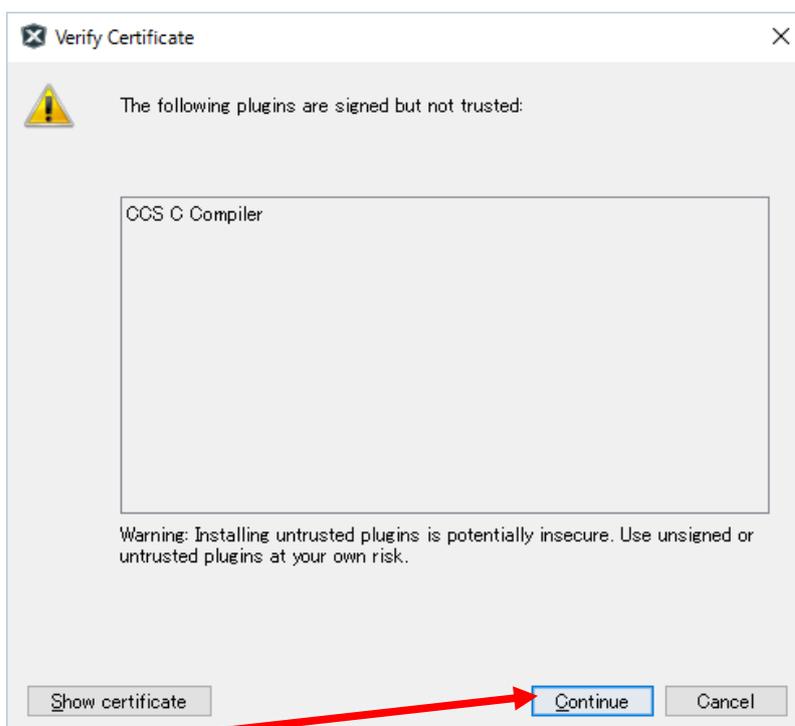
タブの Available Plugins の CCS C Compiler にチェックを入れてから下の画面のように左下の Install をクリックしますとインストールが始まります。



Next> をクリックしますと次の画面が現れます。

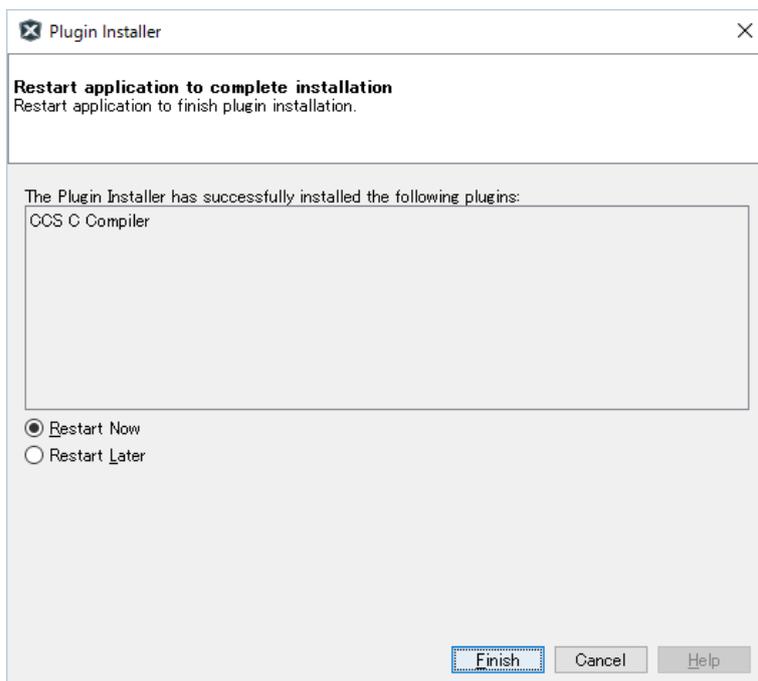


I accept the terms in all of the license agreements にチェックを入れて Install をクリック



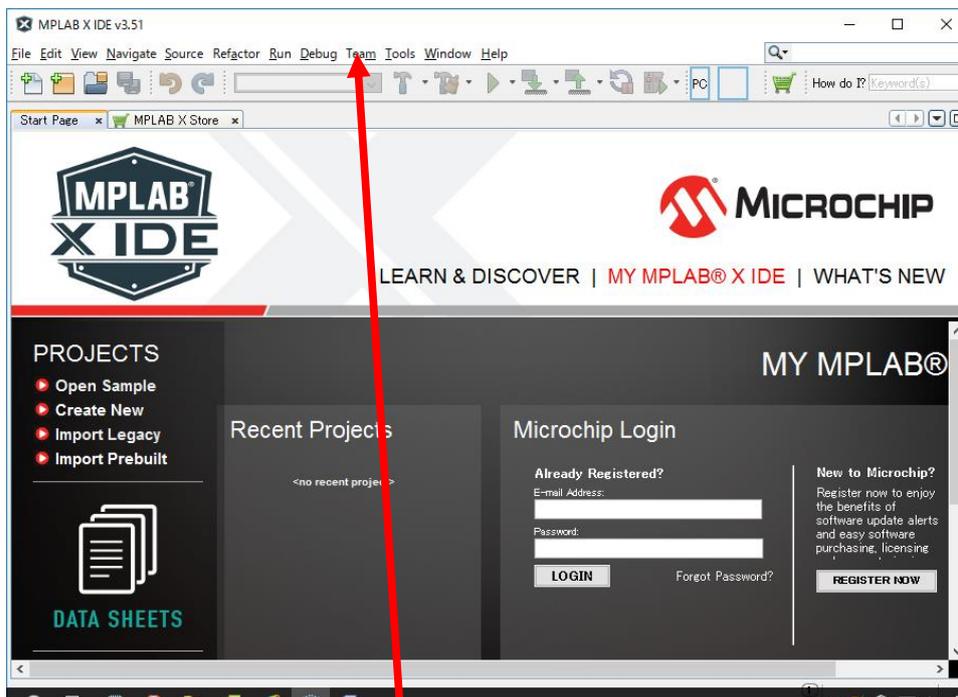
Continue をクリックしますと、以下の画面になり、MPLAB X を再起動が要求されますので、

Finish をクリックして再起動して下さい。



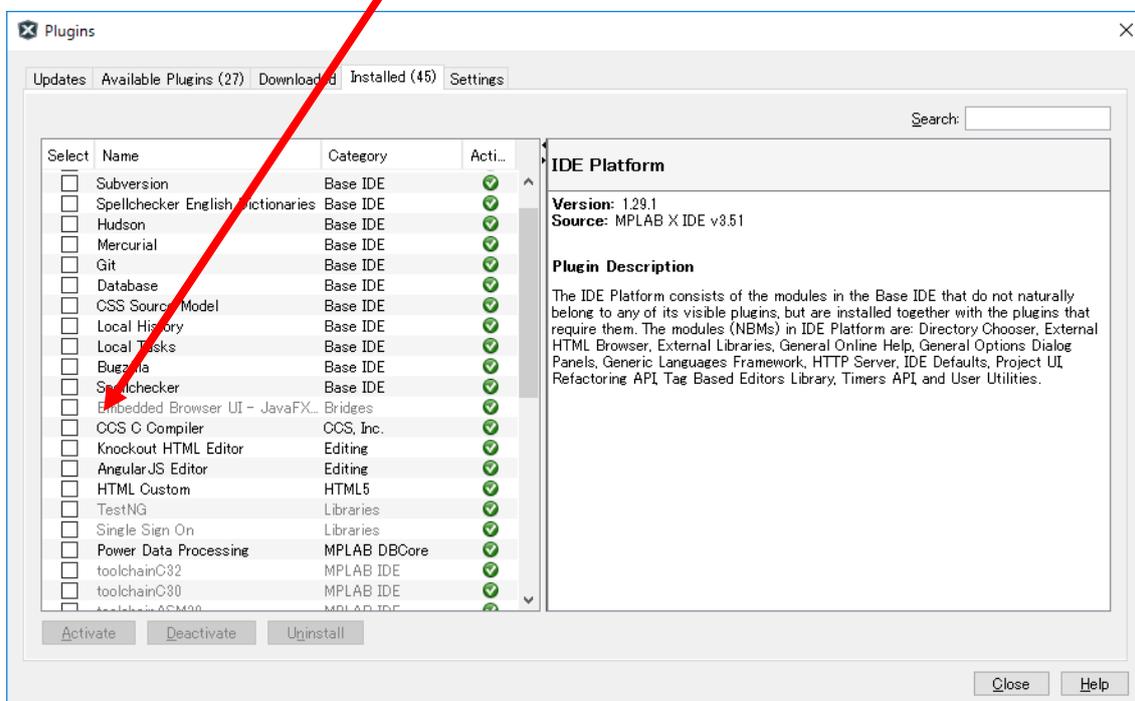
Finish をクリックすると再度、MPLAB X が自動的に再起動されます。





確認のために再度, Tools -> Plugins -> Installed をクリックしますと下記の画面で CCS C Compiler がプラグインされていることを確認出来ます。

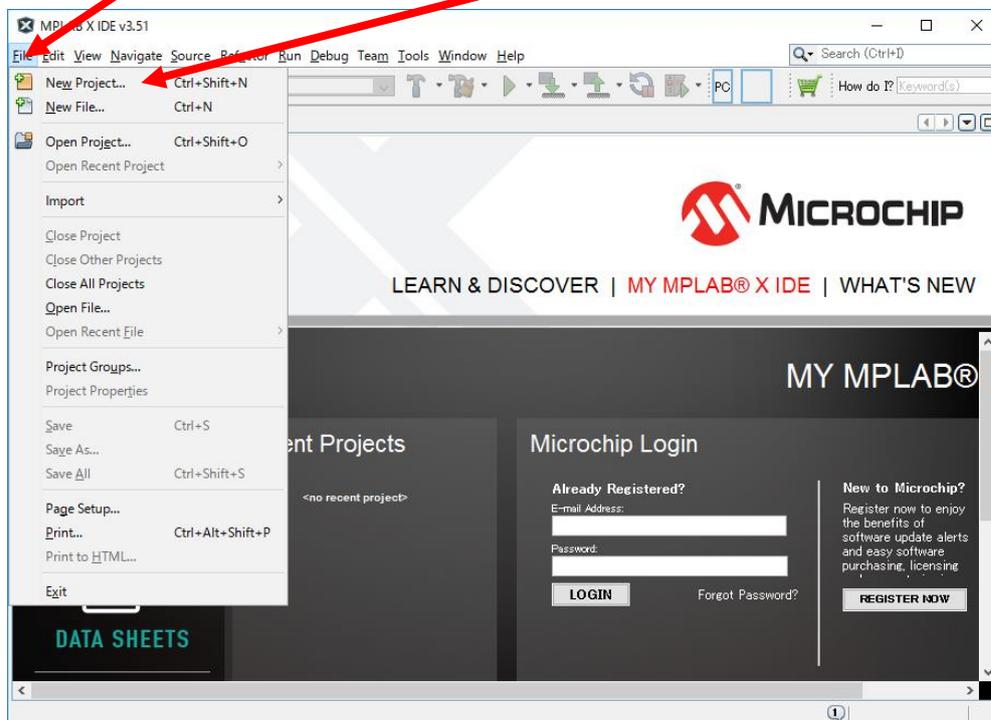
Installed タブに CCS C Compiler CCS, Inc.が表示されています。



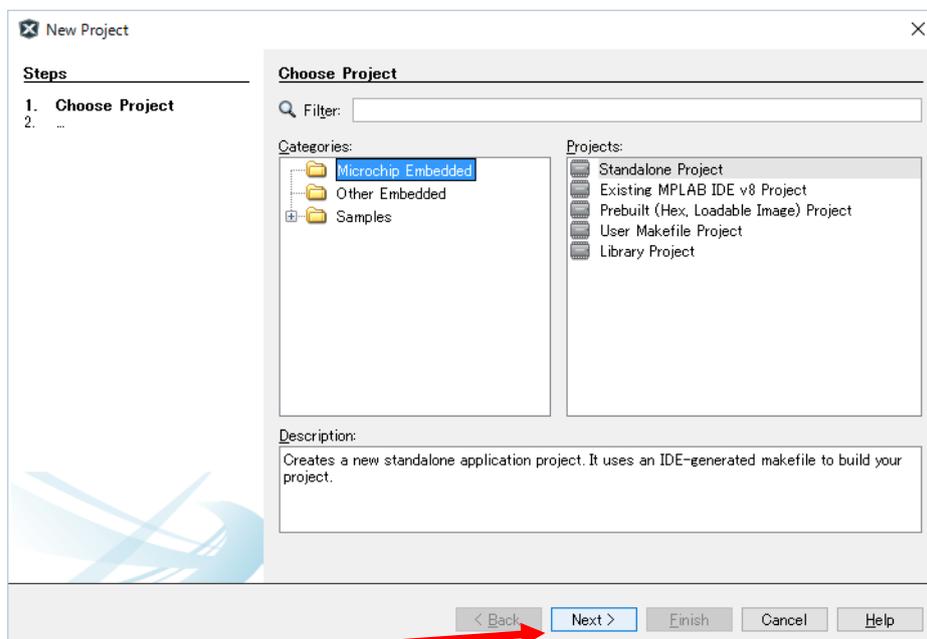
ここからソースファイルを選択し、コンパイルをする手順を説明します。

最初の画面の File を左クリックしますと下記の New Project が選択出来るようになります。

任意のフォルダに任意のプロジェクト名を入れて下さい。

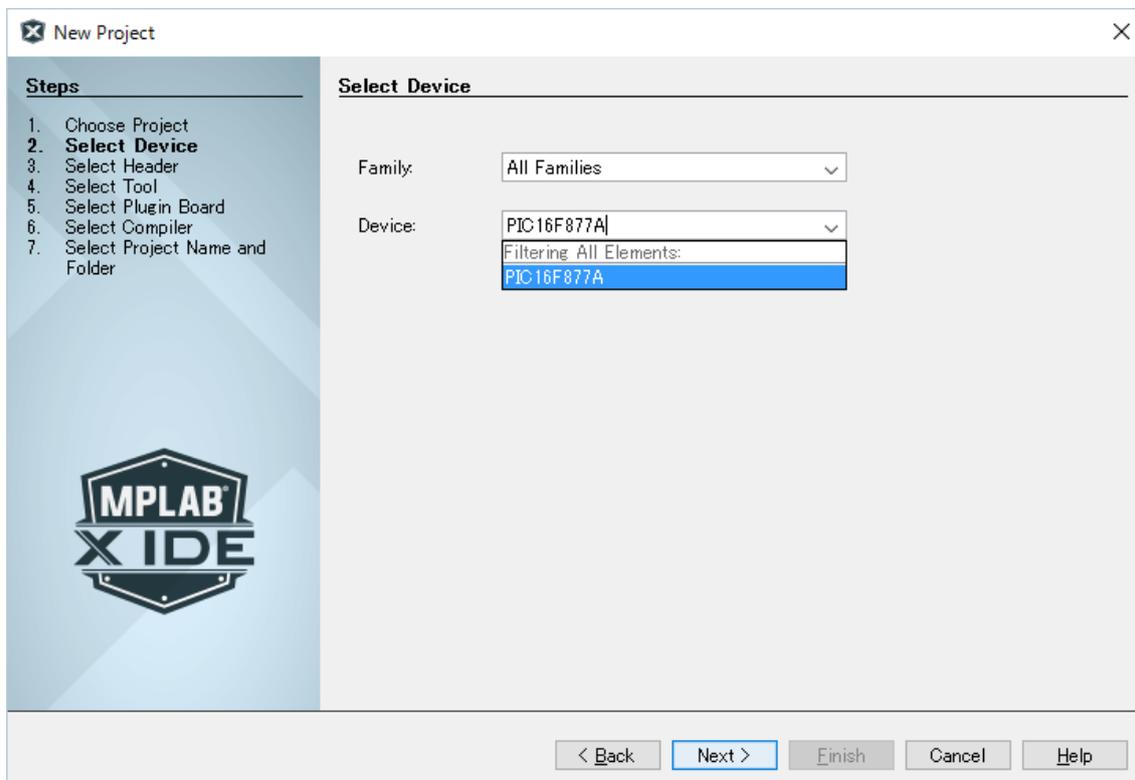
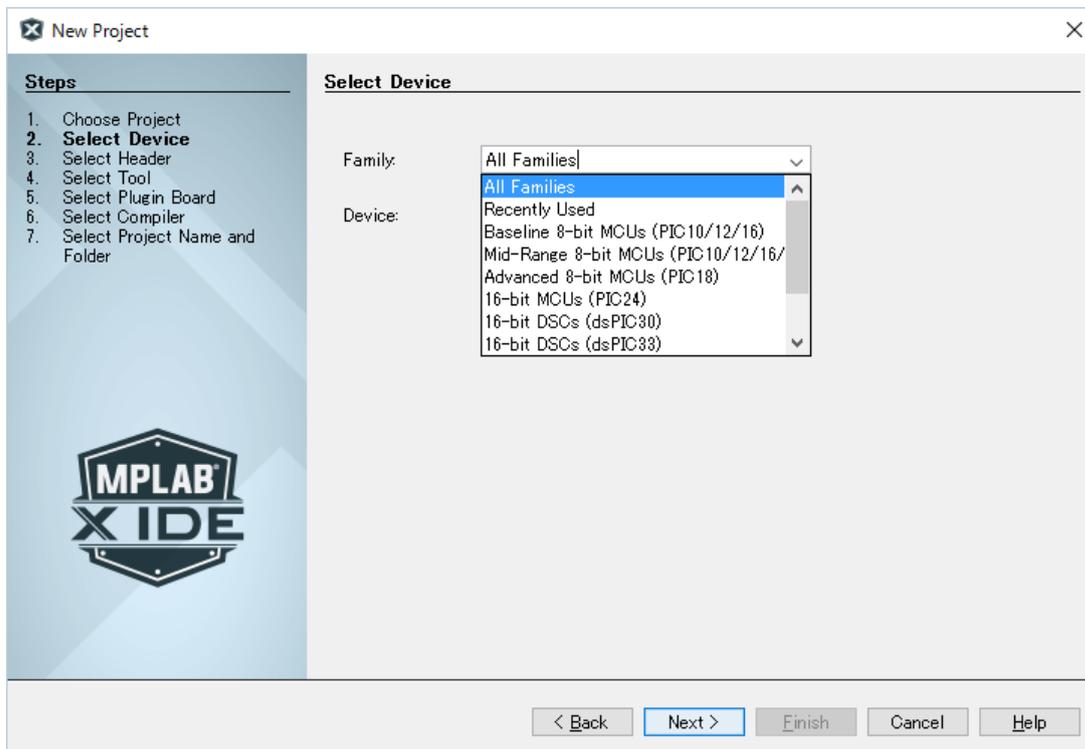


下記の画面が現れますが、Standalone Project のままにしておいて下さい。

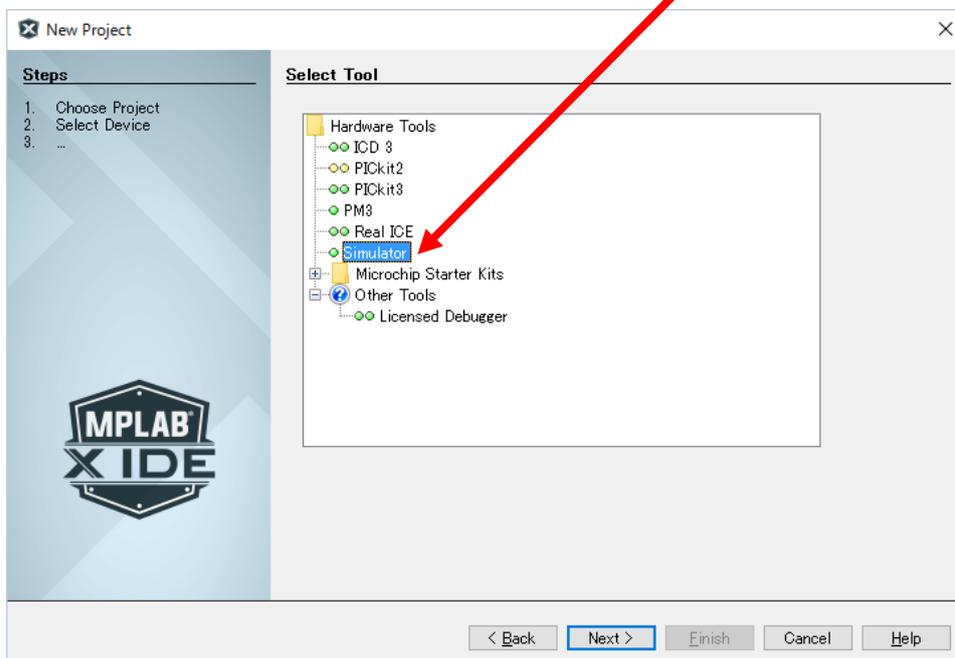


Next をクリックしますと次の画面が現れますので、Device からドロップ・ダウンでターゲットのデバイス・ファミリーを選択して下さい。

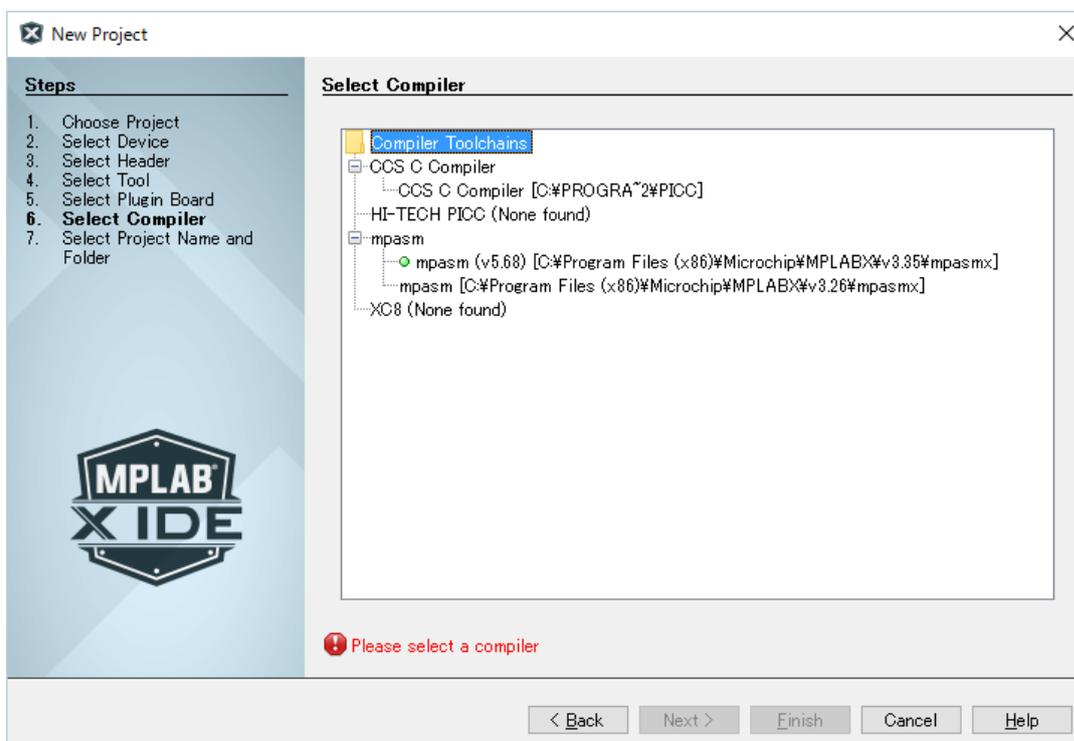
ここでは例として PIC16F877A を選択します。PIC16F877A は Mid-Range 8-bit MCUs です。



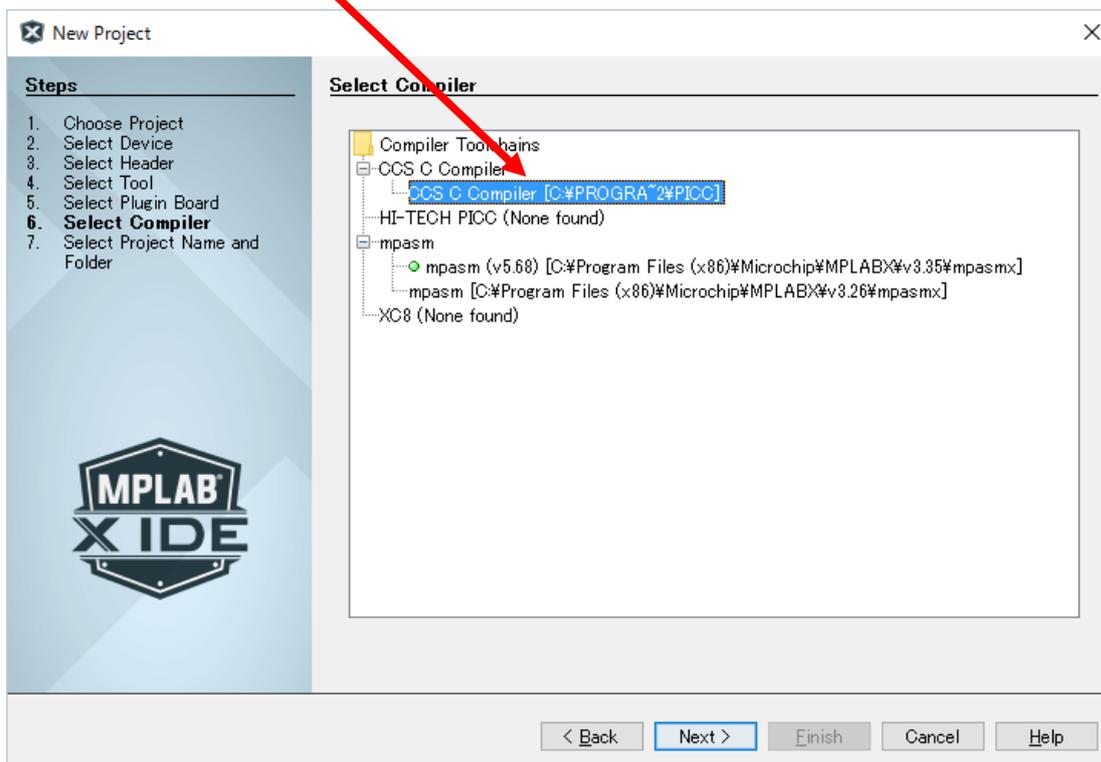
Select Tool では CCS C コンパイラのためには単に Simulator を選択して Next をクリックして下さい。



下の画面が現れますので、次ページの様に CCS C Compiler[C:¥PROGRA..]を選択して下さい。正確に表れていませんが、C:¥Program Files (x86)¥PICCC に実行ファイルがありますのでここにカーソルを合わせて指定して下さい。以下の画面を参照

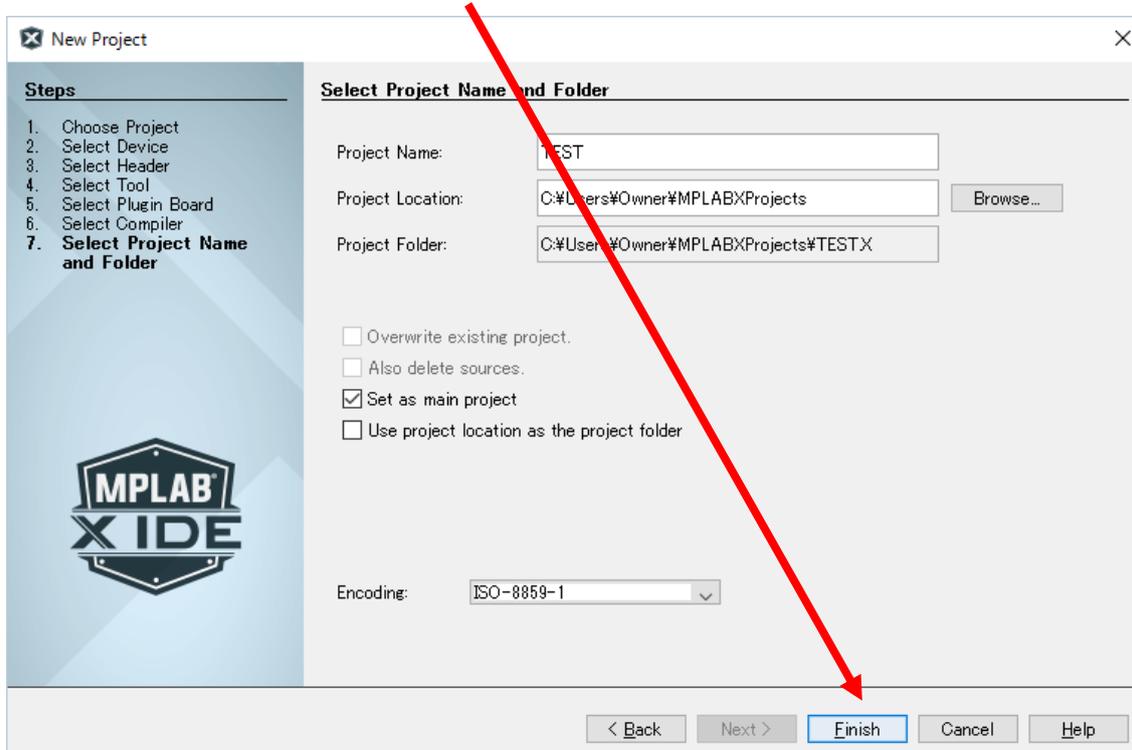


下記の画面の様に CCS C コンパイラを指定して下さい。

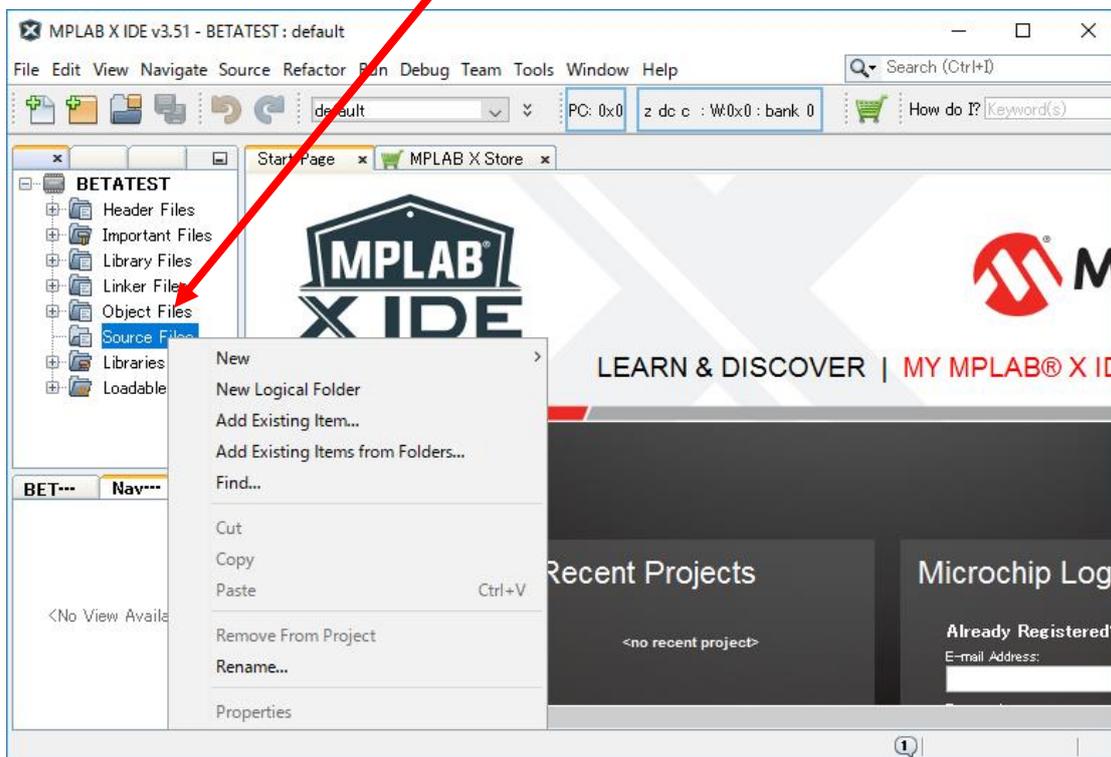


Next をクリック

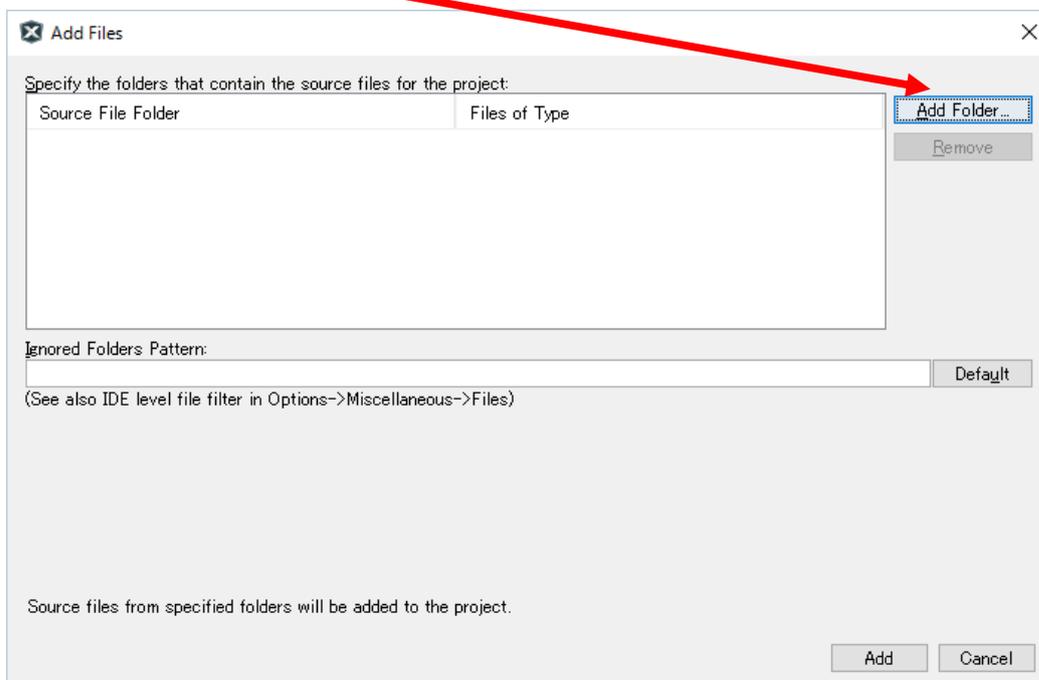
任意のプロジェクト名を入力して Finish をクリックして下さい。



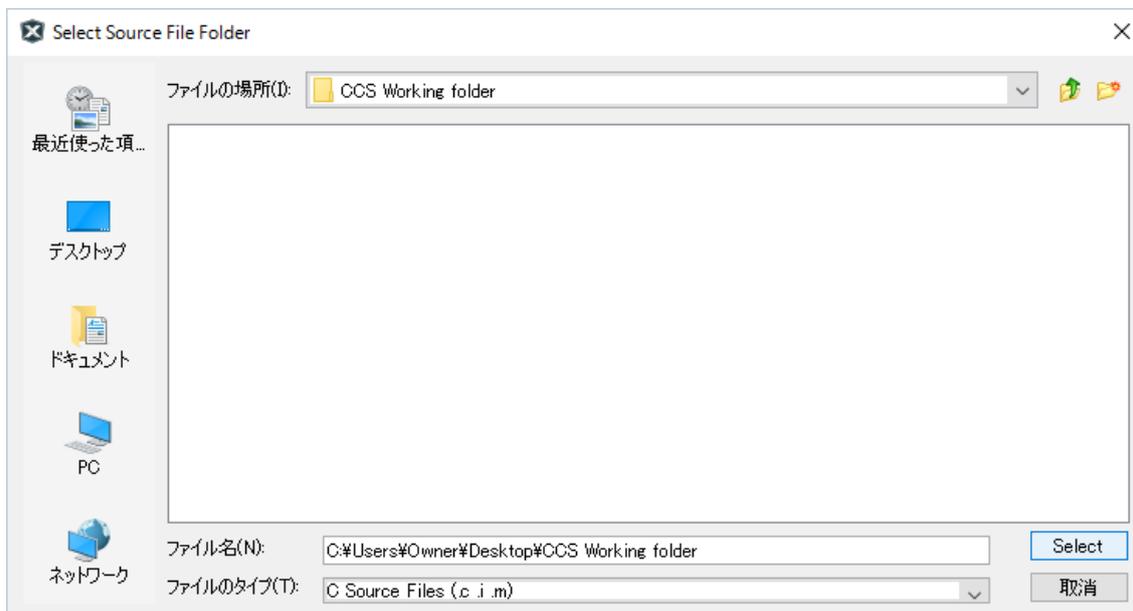
画面が次の様になりますので Source Files にカーソルを移動して右クリックします。



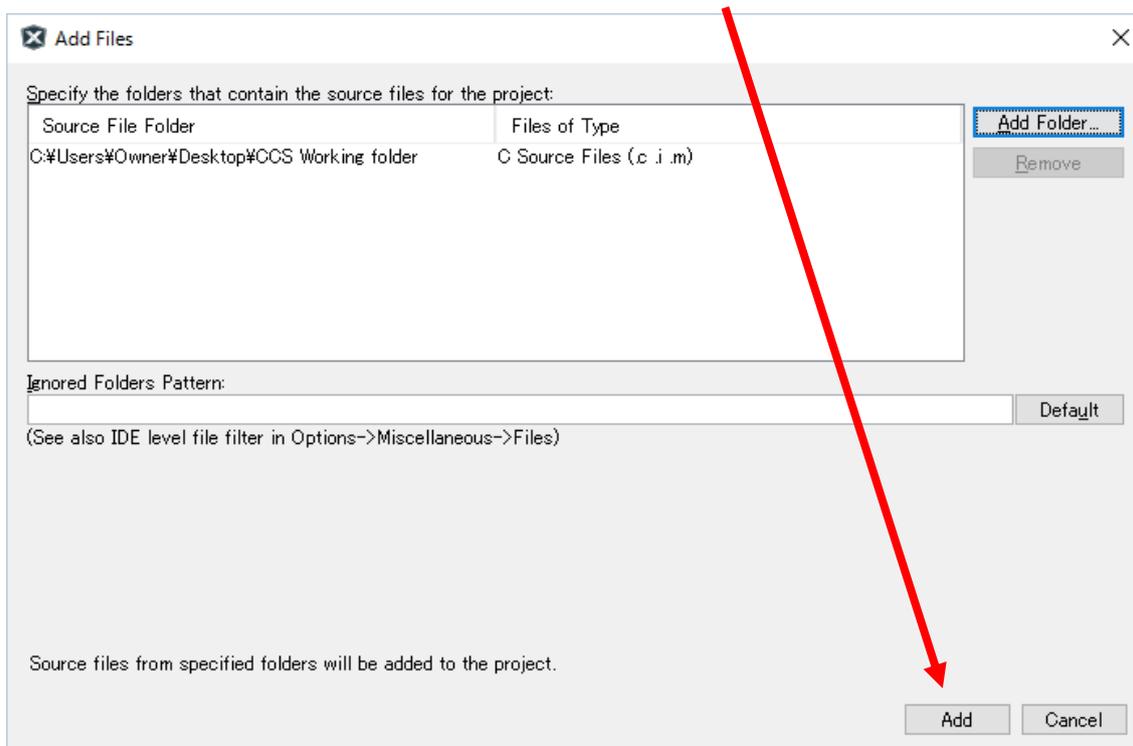
Add Existing Items from folders をクリックすると次の様な画面になりますので、Add Folder.. をクリックし任意のソースの場所を選択して下さい。例として、ここではデスクトップ上の+CCS Working folder+としています。



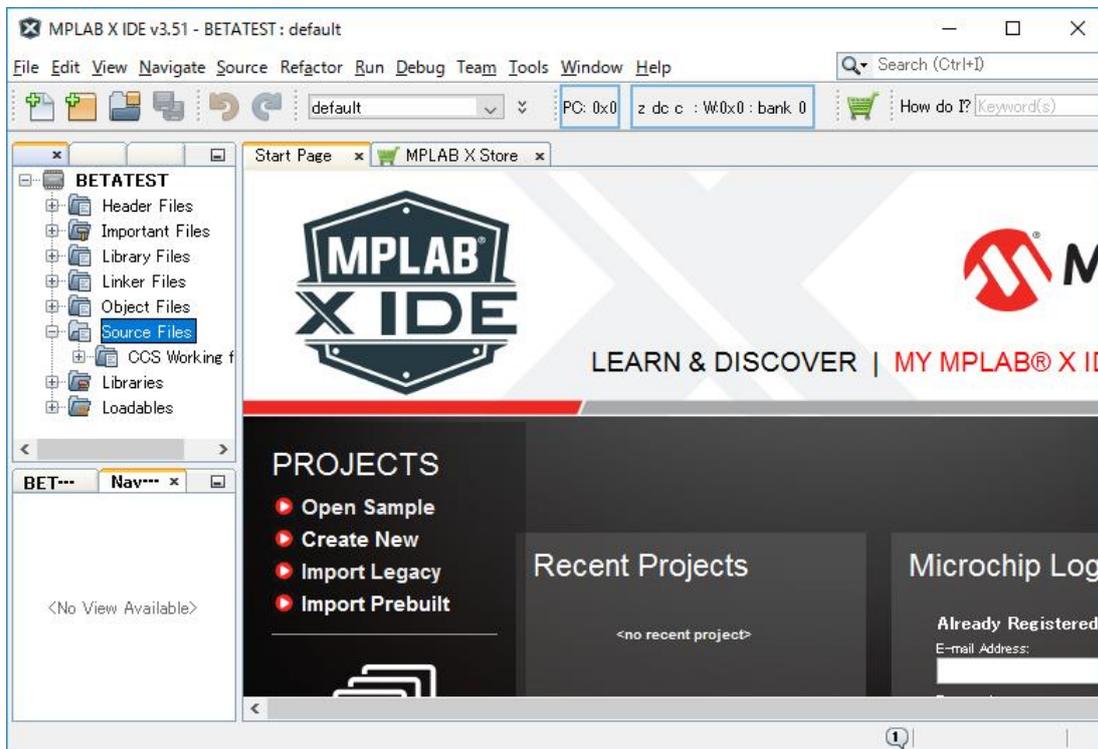
Add folder.. で任意のソースのあるフォルダを選択します。



Select をクリックしますと次の画面に代わりますので、Add をクリックして下さい。

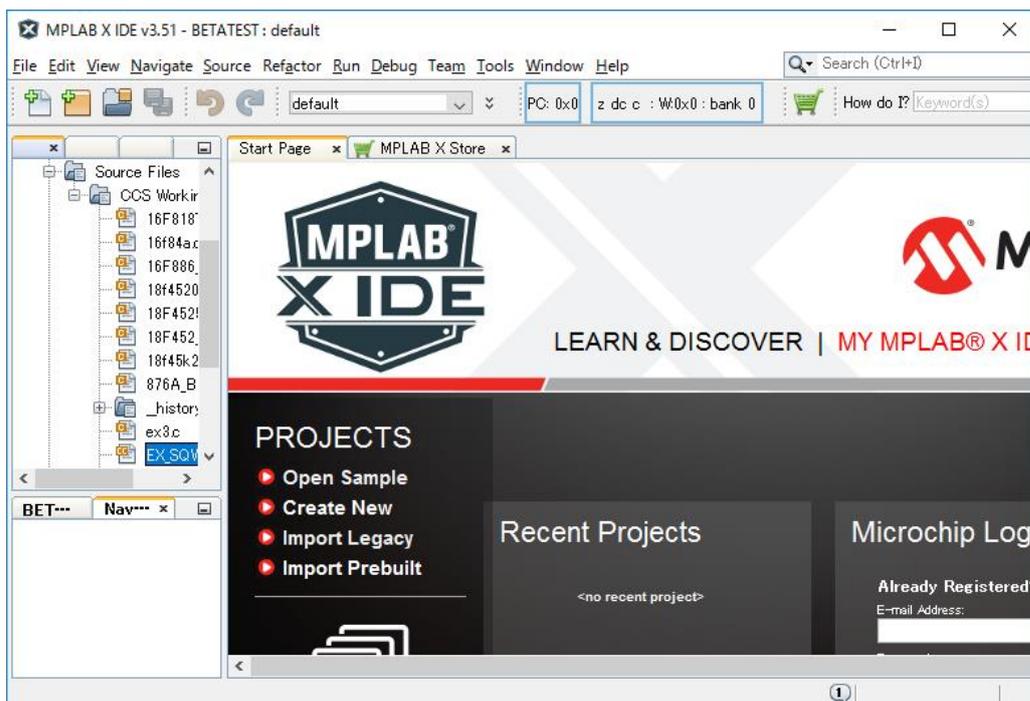


次ページの画面に代わります。

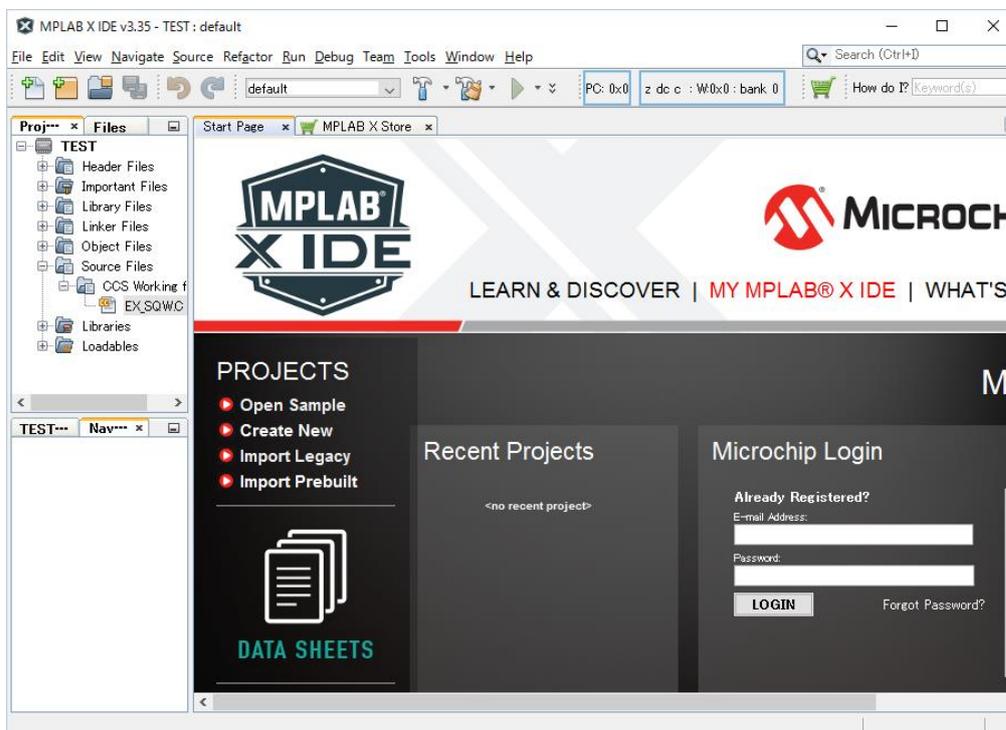


Source Files にカーソルを持って行き、ダブルクリックしますと、以下の画面の様にソースファイルのあるフォルダが表示されます。

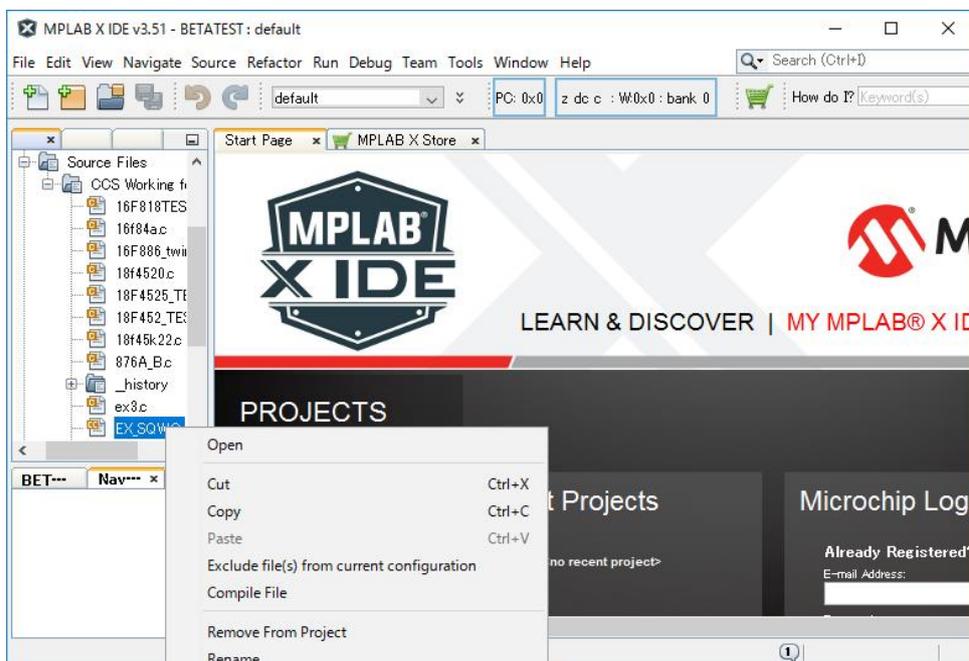
CCS Working folder をダブルクリックすることでソースファイルが表示されます。



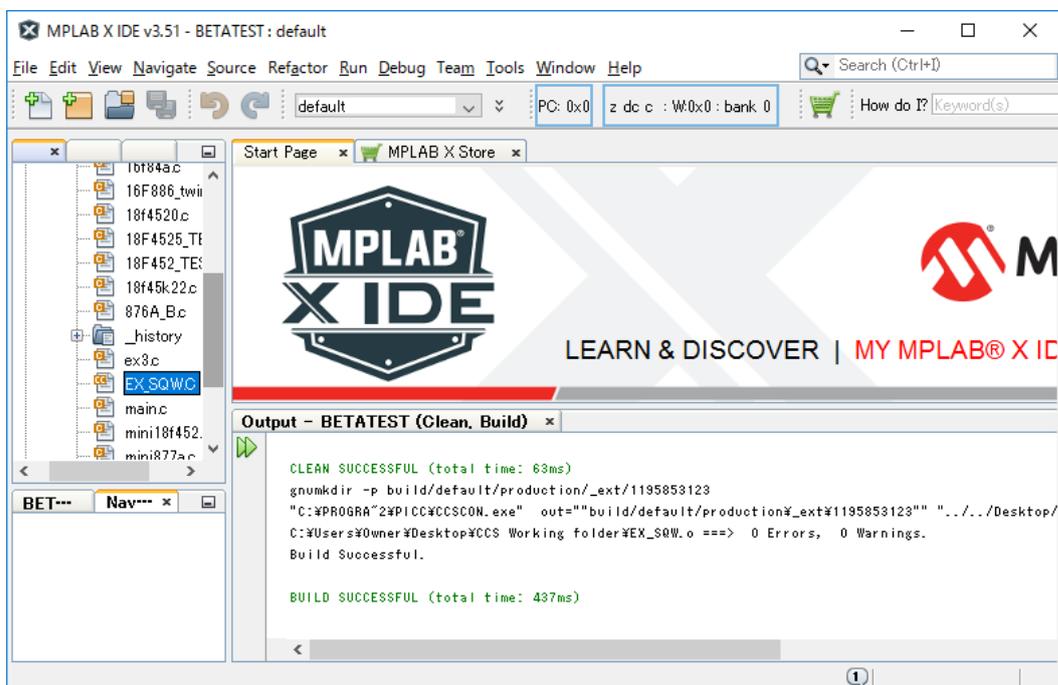
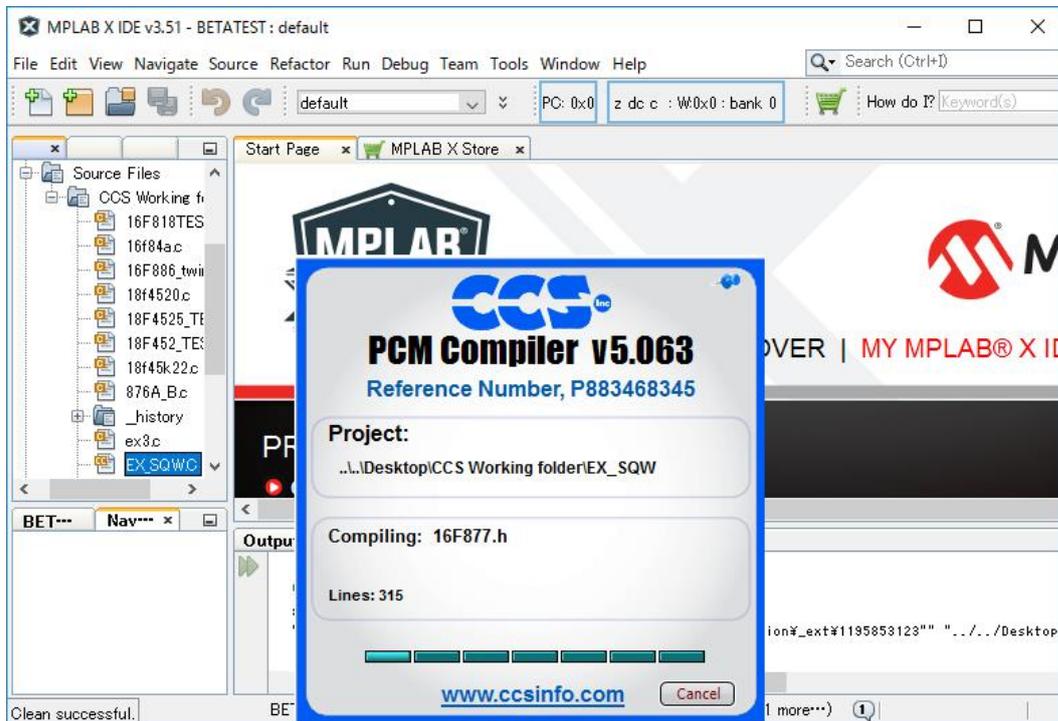
ここでは EX_SQW.C にカーソルと移動[選択]



EX_SQW.C へカーソルを移動し、右クリックしますと次の画面になりますので、Compile File をクリックします。



ここで Compile File をクリックしますと一瞬、コンパイル中の画面が出て、以下の様に Build Successful となります。



以上の要領でコンパイルが出来たこととなります。